



2024年2月9日

沖縄電力株式会社

「エクアドル国ガラパゴス諸島化石燃料ゼロに向けたロードマップ支援プロジェクト」 の業務受託について

沖縄電力グループのシードおきなわ合同会社（以下「シードおきなわ」）は、中部電力株式会社（以下「中部電力」）および日本工営株式会社（以下「日本工営」）とともに独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）から、「エクアドル国ガラパゴス諸島化石燃料ゼロに向けたロードマップ支援プロジェクト」業務を受託し、本日、契約を締結いたしました。

南米のエクアドル国のガラパゴス諸島は1978年に登録された最初の世界自然遺産の1つであり、同国の最重要な観光資源であるのみではなく、世界的に貴重な生態系を有していることから、エクアドル政府はガラパゴス諸島の環境保全に特に注力しています。

一方、ガラパゴス諸島では、高まる電力需要の大半を化石燃料に依存しており、再生可能エネルギーの推進と合わせ、省エネルギーの推進が急務となっています。

本業務はガラパゴス諸島において、地熱発電ポテンシャルの確認、ハイブリッド発電システムに関する計画、運用及びメンテナンスの最適化、省エネルギー実現に向けた計画の提案を行うことにより、エクアドル政府の化石燃料ゼロ化政策に沿って、同諸島の持続可能かつ効率的なエネルギー生産及びエネルギー消費に寄与することを目的としております。

沖縄電力グループは、開発途上国などへの電気事業における技術支援や国際協力を通して、これまで培ってきた知見と技術力を活かし、中部電力および日本工営と協力してガラパゴス諸島における化石燃料ゼロ化の推進に貢献してまいります。

以上

別紙：「エクアドル国ガラパゴス諸島化石燃料ゼロに向けたロードマップ支援プロジェクト」
業務の概要

「エクアドル国ガラパゴス諸島化石燃料ゼロに向けたロードマップ支援プロジェクト」 業務の概要

【業務概要】

体制：中部電力、日本工営、シードおきなわによる共同実施

対象地域：エクアドル国 ガラパゴス諸島及びエクアドル本土

期間：2024年2月～2027年2月（約3年）

業務内容：ゼロエミッションロードマップ・省エネロードマップ作成支援

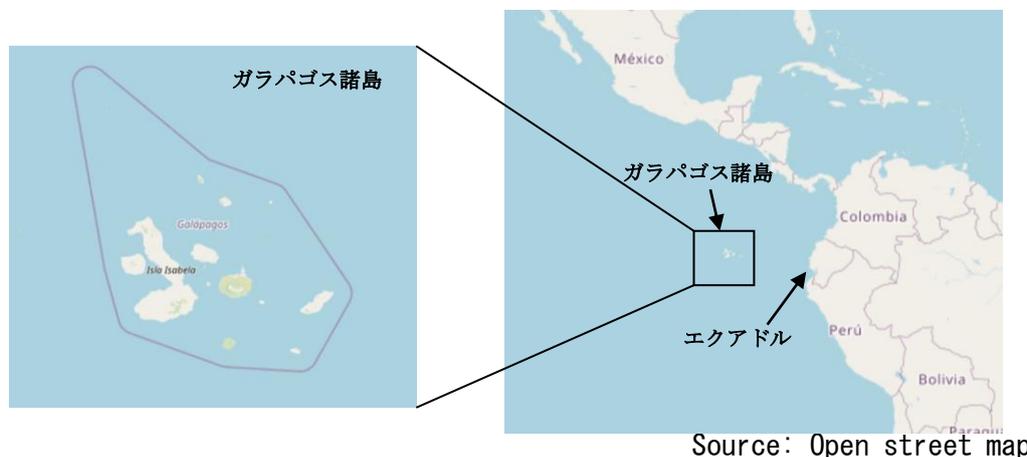
地熱発電に関する調査、系統安定化及びハイブリッド発電に関する調査分析

役割：〔中部電力〕業務主任者・ゼロエミッション・省エネ戦略／デマンドレスポンス(DR)・省エネ技術・ハイブリッド発電計画運用／省エネルギー政策／再エネポテンシャル／省エネ管理・診断

〔日本工営〕地熱開発（地球物理）／地質／地化学

〔シードおきなわ〕系統安定化／ハイブリッド発電システム（ディーゼル）

位置関係：



【関係各社の概要】

◇中部電力株式会社

代表者：代表取締役社長 林 欣吾

設立：1951年

所在地：愛知県名古屋市東区東新町1番地

事業内容：再エネ事業、原子力事業、海外事業、コミュニティネットインフラ関連事業等

◇日本工営株式会社

代表者：代表取締役社長 金井 晴彦

設立：1946年

所在地：東京都千代田区麴町5丁目4番地

事業内容：コンサルティング事業、ダム・発電、交通・運輸、都市・地域開発等

◇シードおきなわ合同会社

代表者：最高経営責任者社長 横田 哲

設立：2021年

所在地：沖縄県浦添市牧港5-2-1

事業内容：再エネ導入拡大及び系統安定化等に関する調査、分析、コンサルティング等